

〔肥後国衆一揆〕
 菊池氏の滅亡後、肥後は小領主である国衆が各地を治めていましたが、天正15年（1587）に九州を制圧した秀吉は、肥後の国主に佐々成政を任命して治めようとした。
 成政は、国衆に対して所領を分割したり少なく与えたりする強引な支配を行いました。また、入国後早々に検地（支配地で獲れる米などの収穫量を把握するために、田畑を測量検査すること）を行おうとしたが、隈府城（菊池市）の城主隈部親永はこれを拒否したため、7月に成政は6000余の大軍で隈府城を攻めました。これが肥後国衆一揆の始まりです。結果的に隈部氏は家臣の裏切りなどで敗れ、息子親安が居城とする城村城（山鹿市）に逃れて籠城しました。これに呼応するように肥後の国衆たちが次々と一揆に加わり、菊池川流域の各所でも国衆たちによる激しい戦いが行われました。
 和水町和仁にある田中城でも、38日間にわたる籠城戦が繰り広げられました。城主の和仁氏を含む約900人に對し、約1万の秀吉軍が城を取り囲み、最後は



深掘り！菊池川流域日本遺産エピソード ～伝説と文化をたずねて～

社会教育課
 文化係
 ☎0968(34)3047



▲田中城跡
 田中城跡は国の史跡に指定され、当時の様子を留めています。



▲田中城に籠城した和仁三兄弟



▲辺春・和仁仕寄陣取図
 （写真は複製品。原本は山口県立文書館蔵）

田中城での戦いの中で描かれた陣取図。田中城を九州・山口の諸将が取り囲む様子が描かれています。

仲間の裏切りによって城主が暗殺され、城に籠城した人々は皆殺しにされてしまいました。
 この一揆平定の際、秀吉は朝鮮・明国出兵を進め、加えて農民に武器の所持を禁じる「刀狩り令」を出して兵農分離を進めました。佐々成政も処分され、肥後には加藤清正と小西行長が入国することになりました。

地域おこし協力隊を卒業します。 和水町が、私の「帰ってきたい場所」になりました。

約3年間、地域おこし協力隊として、空き家の紹介やお試し暮らし住宅の案内、移住相談対応など、移住定住の相談窓口として、サポートを行ってきました。地域の皆さんとの出会いを通して、「人との繋がり」が和水町の一の魅力だと感じています。

地域おこし協力隊としての任期は8月で終了しますが、これからも一人の町民として、この町で暮らし、和水町の魅力を伝える活動を続けていきます。



これから挑戦すること

上和仁で、明治時代の古民家を改修し、小さな宿づくりを進めています。旅人と地域が自然につながり、ほっと一息つける場所を目指しています。宿という新しい形で和水町の魅力を発信し、この町のあたたかさや人との繋がりをこれからも丁寧に伝えていきたいと思っています。



感謝の気持ち

協力隊として活動できた3年間は、地域の皆さんに育てていただいた時間でした。支えてくださった皆さん、一緒に活動してくださった方々、いつも温かく声をかけてくださった地域の皆さんへ。心から感謝しています。ありがとうございました。



これからもよろしくお願いします

これからは宿の営業とともに、この町で穏やかに暮らしていきたいと思っています。暮らしを大切にしながら、私自身が幸せに暮らすことも忘れず、その幸せを地域の皆さんや、和水町を訪れる人へ少しずつ繋いでいけたらと思っています。



宿づくりの様子やお知らせはこちら

宿づくりの様子や営業開始のお知らせは、Instagramで発信していきます。和水町での暮らしや、宿を通じた繋がりもお届けしていきます。ぜひお気軽にご覧ください。



糸寒天の海藻サラダ

4人分量

- 乾燥わかめ……………2g
- 糸寒天……………2g
- 人参……………40g
- きゅうり……………60g
- もやし……………80g
- ごま油……………小さじ1
- しょうゆ……………小さじ3
- 砂糖……………小さじ1
- 酢……………小さじ2

作り方

〈下処理〉
 ・糸寒天は、20分程度水につけて戻し、ザルにあげて水気をとる。

- 1 人参は皮をむき、2cm長さの千切りにする。きゅうりは縦半分の斜め薄切りにする。
- 2 鍋にお湯を沸かし、人参、もやし、乾燥わかめの順に入れてゆで、ザルにあげて冷まし、水気をきる。
- 3 ボウルにすべての材料を入れ、全体を混ぜ合わせたら完成。

ひとくちコメント

夏本番！さっぱりした味が好まれる時期ですが、千切りにした生姜を加えると内臓の冷えを抑えられ夏バテ予防にも繋がります！

